

イタリア GT エンデュランスカップ第2戦ムジェロで総合優勝！

2022年7月21日

- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



Stilo

Introduction

7月15～17日、イタリア GT 選手権・エンデュランスカップ (CIGTE) の 2022 年シーズン第2戦ムジェロが、イタリアのフィレンツェにほど近いムジェロ・サーキットで開催された。

シリーズ開幕戦ベルグサでは根本が担当した最終スティントでタイヤのスローパンクチャーが発生。なんとかトップを死守すべく激しい戦いを見せるも最終ラップの最終コーナーでチームメイトへその座を奪われる形となってしまった。今大会ではそのリベンジをすべく、ミケーレ・ベレッタ、エドアルド・リベラティと共に戦った。

ムジェロ・サーキットは根本が初渡欧した2016年から数えて今回で3大会目となり、2020年に参戦したイタリアGTスプリント選手権では総合優勝も経験している縁起の良いサーキットでもある。今大会は過去2戦とは異なり、路面温度が60°C近くまで上がるといって過酷な暑さの中で行われる一戦となった。



発行 BORDERLESS LLC.
(合同会社ボーダーレス)
〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 8-29-14
インセル葛飾 F号室

- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



Stilo

発行 BORDERLESS LLC.
 (合同会社ボーダーレス)
 〒124-0022
 東京都葛飾区奥戸 8-29-14
 インセル葛飾 F号室

■Qualify : 2nd

現地時間 16日 12時 50分、気温 33度、路面温度 52度とイタリアの夏らしい完走した真夏日の中、決勝のスターティンググリッドを決する公式予選が行われた。イタリア GT エンデュランスカップでは3名のドライバーがそれぞれアタックし、3名の記録したベストタイムの合計で決勝のスターティンググリッドが決定される。

根本悠生は Q1 を担当。このレースでは予選中の給油が認められていないため、Q1~Q3分の燃料を積んだ状態で公式予選がスタートとなる。そのため車両重量が重く、よりタイヤへの負荷も高いためその点も踏まえたアタックをする必要がある。また週末の新品タイヤ投入数にも制限がある(5セット 20本)ため、根本に与えられたアタックラップは2周のみ。限られた周回数で確実にタイムを残す能力が試される。



入念にタイヤへの熱入れを行い、一周目のアタックへ入るとすぐに求めていた車両セットアップウィンドウから若干外れてしまっていることに気付いた根本。FP1でテストした決勝セットは基本アンダーステアを出すようなものだったが、そのベースラインから予選セットへ変更した時に少しアグレッシブにし過ぎてしまったようで、主に中高速コーナーでリアが不安定になってしまっていた。まさにその中高速コーナーが続く第2,3セクターでタイムを落とすも、なんとか1周まとめ切り、1'46.909を記録。三人の中でベストタイムを記録し、フロントロー獲得に貢献した。

- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



発行 BORDERLESS LLC.
 (合同会社ボーダーレス)
 〒124-0022
 東京都葛飾区奥戸 8-29-14
 インセル葛飾 F号室

YouTube : Campionato Italiano GT Endurance - Mugello round 2 -

Qualifiche <https://youtu.be/-N1ZU3ZIw14>

■ Race : 1st

2時間の決勝では63号車と戦略を分けることになった19号車。当日朝まで様々なプランが検討されたが、最終的にビンチェンツォ監督のプランである根本悠生-リベラティ-ベレッタの順で挑む作戦に出た。これは序盤2スティントでなるべく多くのギャップを作るという先行逃げ切り作戦だ。またイタリアGTではサクセスハンディキャップとして過去の戦績に応じてピットストップ時にタイムペナルティが課せられる。前戦ベルグサで2位を獲得した19号車は+15秒の静止時間が追加され、これは計2回のピットストップでそれぞれ+7.5秒ずつ消化する必要がある。

予選とほぼ変わらないコンディションの中で迎えたスタートでは、ポールポジションからスタートした63号車のベンジャミン・ハイツとサイド・バイ・サイドで1コーナーへ進入すると、続く2コーナー、3コーナーとどちらも譲らず激しい戦いを見せる。続く4コーナーに向けてインサイドを取った根本がトップに立ち、VSRの1-2体制を築くと、根本はここから猛プッシュを開始。イタリアGTでは根本が参戦するGT3クラスに加え、各メーカーのカップカーを使用して争われるGTCUPクラスが混走しており、トラフィックの処理能力も求められる。根本はニュータイヤス

- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



Stilo

スタートだったこともあり、周回遅れに追いつく前に可能な限り後続とのギャップを引き離す作戦に出た。

スタートからハイペースで飛ばす根本は開始早々ニュータイヤの利点を生かし1分48秒台を連発。5周目には1'48.601を記録し、今大会のファステストラップを獲得した。その後は後続と比較し毎周1秒近くギャップを広げていたことから、リアタイヤを多少ケアしつつ予定よりもスティントを長く取る作戦に変更。その後もミスなくコンスタントな周回を重ね、24周目にピットイン。その時点で2位と約20秒の差をつけ、サクセスハンディキャップを帳消しにするほどの快走を見せた。

リベラティが担当した第2スティント、そしてベレッタが担当した第3スティント共に大きなミスなく順調に周回を重ね、最終的に2位を獲得した63号車へ43秒以上の大差をつけ今季初優勝を飾った。

YouTube : Campionato Italiano GT Endurance - Mugello round 2 - Gara
<https://youtu.be/vLEjYzWb1v0>



発行 BORDERLESS LLC.

(合同会社ボーダーレス)

〒124-0022

東京都葛飾区奥戸 8-29-14

インセル葛飾 F号室

- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



Stilo

発行 BORDERLESS LLC.

(合同会社ボーダーレス)

〒124-0022

東京都葛飾区奥戸 8-29-14

インセル葛飾 F号室

■根本コメント：

「チーム、そしてスポンサーさんに今季初優勝を届けることができても嬉しく思います。ベルグサでもトラブルが無ければ優勝できていたと思いますが、改めてこうしてリザルトに残るとやはり嬉しいです。今週末はタイヤ戦略に幅を持たせるためにFP1、FP2での走行量が極端に制限されていたため、ドライバーとしては練習する機会が無く非常にチャレンジングな戦いでした。予選セッティングに関しては今シーズン新たに担当してくれているスクアドラ・コルセのエンジニアと、僕ら三人のフィーリングとコメントがまだ100%マッチしていなかった結果、少しアグレッシブに行き過ぎただけなので、今後はこういった細かい部分も含めて更になんて戦っていったらと思います。」

「スタートで前に出られたこと、高い気温の中ハイペースかつ一貫したペースでステイントをこなせたこと、最終的に43秒もの大差をつけて優勝できたこと。今週末は全てが良い方向に働いてくれた二日間でした。改めてFAV HOTELをはじめとするスポンサー様、ファンの皆様に感謝致します。この調子でチャンピオンシップも獲得できるよう頑張ります。」



本件に関するお問い合わせは info@borderless-motorsports.com まで